

# 平成30年度 埼玉県臨床検査精度管理調査 目標値・解答一覧表

平成30年10月15日

臨床化学検査			
No	項目	試料1	試料2
1	AST(JSCC: IU/l 37°C)	35	160
2	ALT(JSCC: IU/l 37°C)	35	148
3	ALP(JSCC: IU/l 37°C)	289	429
4	GGT(JSCC: IU/l 37°C)	62	191
5	AMY(JSCC: IU/l 37°C)	87	322
6	C K(JSCC: IU/l 37°C)	136	414
7	L D(JSCC: IU/l 37°C)	164	421
8	ChE(JSCC: IU/l 37°C)	258	360
9	UN(Ure-UV :mg/dl)	15.0	39.0
10	CRE(酵素 :mg/dl)	0.95	3.86
11	UA(Uri-POD :mg/dl)	3.5	7.8
12	TG(FG消去法:mg/dl)	67	95
13	TCH(酵素法 :mg/dl)	146	205
14	HDL-C(直接法 :mg/dl)	48	66
15	LDL-C(直接法 :mg/dl)	84	117
16	TB(BOX etc :mg/dl)	0.8	4.4
17	Glu(HK :mg/dl)	88	195
18	TP(ピレット :g/dl)	5.6	7.8
19	ALB(BCP改良: g/dl)	3.5	4.9
20	Na(ISE :mmol/l)	133	149
21	K(ISE :mmol/l)	3.7	5.0
22	Cl(ISE :mmol/l)	99	117
23	Ca(アルセナⅢ :mg/dl)	7.5	10.1
24	Fe(N-PSAP :μg/dl)	104	203
25	IP(酵素法 :mg/dl)	3.6	6.9
26	CRP(LTX比濁:mg/dl)	0.39	4.04
No	項目	試料3	試料4
27	HbA1c(NGSP :%)	5.8	11.0

血液検査			
No	項目	試料11	試料12
31	白血球数(×10 <sup>9</sup> /L)	5.0	11.6
32	赤血球数(×10 <sup>12</sup> /L)	3.40	3.35
33	ヘモグロビン量(g/dl)	10.7	9.2
34	ヘマトクリット値(%)	31.5	27.1
35	血小板数(×10 <sup>9</sup> /L)	113	470

血液検査フォトサーベイ		
写真	コードNo.	分類名
1	45	ファゴット細胞
2	64	形質細胞
3	65	腫瘍性リンパ球
4	34	後骨髄球

血清検査		
No	項目	試料23
52	HBs抗原	陽性
53	HCV抗体	陽性

\* 注意事項：全ての検査機器において結果が確認できているわけではありません。機器によっては結果が一致しない場合があります。詳細は後日刊行される報告書をご参照ください。

輸血検査			
No	項目	試料41	試料42
61	ABO式血液型	O型	B型
62	Rh式血液型	陽性	陽性
No	項目	試料43	試料44
63	抗体スクリーニング	陰性	陽性
No	項目	試料45	
64	抗体同定	抗Fyb	

一般検査					
No	項目	方法	試料51	試料52	試料53
51	蛋白定量(mg/dl)	ピカロール法	165.4	51.0	193.8
52	糖定量(mg/dl)	電極法/酵素法	762	255	101

一般検査フォトサーベイ		
写真	コード(表10)	理由(表11)
問1	1	
問2	25, 27	216,217,220
問3	260, 264, 266のいずれか	407,419,411
問4	610	379,325,327

問5	単核	1	個数	
			詳細分類	個数
			リンパ球	1
			単球	
多核	4	個数		
		好中球	4	
			好酸球	

微生物検査	
写真A	1093
写真B	1004
写真C	1152
バーチャルスライド	20
試料61	1206
試料62(同定)	1025
試料62(感受性)	<i>Enterococcus faecalis</i> ATCC51299 ※評価はCLSI判定基準及び集計結果を考慮して行う。
試料63	<i>Pseudomonas aeruginosa</i> ATCC27853 ※評価はCLSI判定基準及び集計結果を考慮して行う。
試料64	グラム染色:801 推定菌種:1033

病理フォトサーベイ			
設問	解答	設問	解答
1	1	4	4
2	4	5	5
3	4	6	4

細胞診	
設問	推定病変
1	B
2	D
3	E
4	C
5	B
6	B
7	A
8	D
9	C
10	D
11	A
12	E
13	A
14	E
15	C

—臨床化学検査結果注意事項—

\* ドライケミストリーの測定値は試料のマトリックスの影響により上記結果と一致しない場合があります。本試料はメーカーにも配布してありますので値の確認はメーカーにお問い合わせください。

\* HDL-C, LDL-C, HbA1cは一部に試薬間差を認めるため、最終報告書の平均値と異なる可能性があります。

\* 本結果は研究班施設による代表値ですので集団の平均値とは必ずしも一致しません。

\* 本結果から大きくはずれている施設は早急に機器設定、試薬・標準品の確認等を行ってください。

1. 本結果は①標準化されているもの②埼臨技研究班で値付けができるもの③正解があらかじめ分かっているもの(フォトサーベイ等)のいずれかを満たすもののみを記載します。未記載項目は、2月に発行される「H30 年度報告書」をご参照ください。
2. 本一覧の、濃度・活性で示す結果は「目標値」であり必ずしも集団の平均値とは一致しません。
3. この結果に関するお問い合わせは手引き書に記載されている担当までお願いいたします。
4. 細胞診の結果は日本臨床細胞学会埼玉県支部の協力により掲載いたしました。

公益社団法人 埼玉県臨床検査技師会  
 会長 神山 清志  
 精度管理委員長 山口 純也